

★ 影絵になつて リズムで ダンスを お楽しみ！



2025年

3 / 20
(木祝)

14:00~15:00

すずらんテープで腰巻きやウィッグなどの
装飾品を作り、影絵になって踊ります!!

※事前にお申込みください。当日の受付は13:45より。
※手話通訳などのサポートが必要な方はご相談ください。
※障がいをお持ちの方1名につき、付き添いの方1名無料

500円

未就学児
無料!

会場：桜美林芸術文化ホール内 交流プラザ

主催：桜美林芸術文化ホール 協力：町田市

※本事業の鑑賞サポートは、誰もが芸術文化に触れることができる社会の実現に向けて「東京文化戦略2030」の取組「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環としてアーツカウンシル東京が助成しています。

＜当日の流れ＞

1. すずらんテープで身につけるものをつくる（15分ほど）
2. テープが揺れるように打楽器に合わせてダンスしてみる（15分ほど）
3. 影絵にどうやってなるのか教えてもらう（15分ほど）
4. みんなで踊ってみる（15分ほど）



＜出演者プロフィール＞



川村 恒平 斎（影絵・音楽）

1980年、東京生まれ。インドネシア・バリ島の伝統影絵【ワヤン・クリット】を現代的な文脈で捉え直し、新たな芸能のカタチを模索し続ける芸術家。世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。日本各地でフィールドワークやワークショップを行い、土地の記憶を手がかりに影絵作品製作。その他、切り絵や映像制作、映画・CM等への楽曲提供など幅広く活動している。ガムランを使った音楽ユニット【滞空時間】主宰。平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞。北海道庁主催『北の絵コンテ大賞』受賞(2021)。テレビ東京「東京交差点」出演 <https://www.youtube.com/watch?v=IHfVB5MVCwI> (2022)影絵芝居「福田うみやまこばなし」(瀬戸内国際芸術祭 / 2022)ストラヴィンスキー「兵士の物語」(演出・出演 / 東京藝術大学 / 2022)



新倉 壮朗（打楽器）

1986年生まれ。ダウン症に生まれ、筋力が弱いため3歳まで歩くことができなかった。11歳でサバールに出会い、毎日楽しく太鼓を叩き続けるうちに、筋肉隆々のがっしりとした腕になる。アフリカの楽器、サバール、ジャンベ、バラフォンほか、ピアノやマリimbaを演奏する。これまで20年以上の音楽活動では「音の開放広場」をテーマに、エネルギッシュな演奏、ダンスを披露している。素朴で優しい線画も描く。

ワガン・ンジャエ・ローズ（友情出演）

セネガルが生んだアフリカの至宝、世界が絶賛した伝説のサバール奏者ドゥドゥ・ンジャエ・ローズの息子にして正統な継承者。



定行 夏海（ダンス）

幼少の頃から西アフリカの伝統舞踊を柳田知子氏と母である定行雅代より学び、2004年からNPO法人みやぎダンスのインクルーシブダンス活動・舞台作品に参加。京都造形芸術大学舞台芸術学科にて、伊藤キム、寺田みさこ等に師事。2015年から3年間フィジカルシアターカンパニーGEROに所属。「コミュニケーションとしてのダンス」「誰しものが対等に在れる場づくり」を目指し、現在は運動療育士®(スパーク協会)として児童発達支援を行いながら、ダンサー・ファシリテーター・振付を行っている。(NPO法人『みやぎダンス』指導 / おやじダンスパフォーマーズ『出舞一丁』振付・指導)。SLOW LABELではアカンパニストとして「The Eternal Symphony 1st mov.」 / ヨコハマ・パレート リエンナーレ2017「現代サーカス'sense of oneness」 / 国際障害者舞台芸術祭True Coloursシンガポール「女松虫（演出：金井ケイスケ、振付：ソンシリー・ジャイルズ）」などに出演。

直接来館、電話、またはGoogleフォームよりお申込みください→



※事前申込必須

＜お問合せ・お申込・会場＞

桜美林芸術文化ホール

〒194-0032 東京都町田市本町田2600-4

 **042-739-0071**

平日10:00-16:00

＜交通アクセス＞

JR・小田急線「町田駅」から神奈川中央交通バス「町田バスセンター」(4番・5番のりば)から「山崎団地行」または「山崎団地センター行」乗車約20分「山崎団地センター」下車。バス停より徒歩5分。

※公共交通機関をご利用ください。

